

The Future of Journalism

学生応援プロジェクト

どうなるメディア 日経・FT 記者が語ります

10 NIKKEI
FINANCIAL
TIMES
ANNIVERSARY



開催日時	2025年6月14日(土)13:00～17:00
会場	慶應義塾大学 三田キャンパス南校舎ホール ※オンライン配信とのハイブリッド開催 ※来場希望者が多数の場合は抽選
受講料	無料、日英同時通訳付き

プログラムの詳細、
お申し込みはこちらから



■ シンポジウム

第一部 13:00-15:30	主催者あいさつ		
	開演のことは	ジェラニ・コブ	(米コロンビア大学ジャーナリズム大学院長)
	基調講演	マーガレット・サリバン	(米コロンビア大学ジャーナリズム大学院 教授)
	討論会：トランプとメディア		
		マーガレット・サリバン	(米コロンビア大学ジャーナリズム大学院 教授)
司会:中原みなみ (テレビ東京アナウンサー)		アンナ・ニコラウ	(英フィナンシャル・タイムズ USメディアエディター)
		水谷瑛嗣郎	(慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 准教授)
		桃井裕理	(日本経済新聞社 政策報道ユニット長)
		秋田浩之	(日本経済新聞社 コメンテーター)※モデレーター
	総括	山本信人	(慶應義塾大学法学部 教授)
第二部 15:45-17:00	学生とのクロストーク：どうなるメディア 日経・FT記者が語ります		
	GAFAとAIによってメディアはこれからどうなるのか、就職先として選んでも大丈夫なのか、疑問や不安を感じる学生の皆さんもいます。国際政治経済をめぐる報道で活躍している日本経済新聞と英フィナンシャル・タイムズの記者とエンジニアが、シンポジウムに参加した学生の皆さんと議論します。会場にいらして直接質問を投げかけてください(来場特典あり)。		
		アンナ・ニコラウ	(英フィナンシャル・タイムズ USメディアエディター)
		山本博文	(日本経済新聞社 電子版編集センター 記者)
		川崎なつ美	(日本経済新聞社 国際報道センター 記者)
		山崎亮	(日本経済新聞社 デジタル編成ユニット プロダクトマネージャー)
		桃井裕理	(日本経済新聞社 政策報道ユニット長)※モデレーター

主催：日本経済新聞社、米コロンビア大学ジャーナリズム大学院、慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
協力：早稲田大学ジャーナリズム大学院(政治学研究科ジャーナリズムコース)、上智大学メディア・ジャーナリズム研究所

The Future of Journalism

学生応援プロジェクト「これからのジャーナリズムを考えよう」は、日本経済新聞社と米コロンビア大学ジャーナリズム大学院が2017年に創設したアジア地域のジャーナリストを育成する「コロンビア・日経スカラシップ(奨学金)制度」の一環です。

学生にジャーナリズムの重要性を伝えるシンポジウムは2018年から開催しており、これまで東京大学、上智大学、早稲田大学、慶應大学と共催。今回は7回目となります。

「コロンビア大学ジャーナリズム大学院について」

コロンビア大学は1754年に創立した全米で5番目に古い伝統校。80人超のノーベル賞受賞者を輩出してきました。1912年創立のジャーナリズム大学院は1917年から優れた新聞報道などに贈るピューリツァー賞を運営。研究分野は調査報道、放送、マルチメディア、芸術など多岐にわたります。2010年に大学院にデジタルジャーナリズム・センターを設置して将来のメディアのあり方なども研究しています。

NIKKEI

「日本経済新聞社について」

創刊は1876年で2026年に150周年を迎えます。2015年に英フィナンシャル・タイムズ(FT)を買収。

「日本経済新聞」の販売部数は133万部、「日本経済新聞 電子版」の有料購読数は2024年に日本の有料デジタルニュース媒体で初めて100万を超えました。英文媒体「Nikkei Asia」とFTを含めたデジタル有料購読数は合計377万と、世界3位の規模となっています。

FT FINANCIAL TIMES

「フィナンシャル・タイムズ(FT)について」

1888年にロンドンで創刊して以来、その権威の高さ、清廉さ、正確な報道により世界を代表するビジネスメディアとしての地位を築いてきました。

最新のニュース、論評、データやその解析などの情報を世界のビジネス界に発信しています。

デジタル有料読者数は2024年12月時点で253万を数えます。

NIKKEI at a Glance

NIKKEI Asia

78,121

有料会員数 (ID、2024年末)

支局数

51

国内

37

海外

FT
FINANCIAL
TIMES

2,662,448

有料会員数 (紙+デジタル、2024年末)

記者人数
(2025年4月)

1,345人

国内

172人

海外

日本経済新聞

1,338,314

日本経済新聞朝刊部数 (2024年12月)

1,020,943

電子版有料会員数 (2025年1月)

1,171,577

デジタル有料購読数 (2025年1月)